

第4節 都市間交流を推進する

1. 現状と課題

- ① 姉妹都市である大韓民国慶山市やアメリカ合衆国バンクーバー市を中心に、都市間交流を推進しており、文化・経済など社会全般にわたり国際化が進む中で、諸外国との交流を促進することにより、さらなる友好親善と相互理解を深めていくことが必要です。

また、国内においても、鳥取県三朝町と国内姉妹都市として盟約を締結しているところであり、それぞれの都市の有する地理・風土・歴史等の相違を認識し、草の根交流等を通じて愛着を深めることで、活力あるまちづくりを推進していくことが必要です。

- ② 国際交流協会への支援を行い、語学講座や市民参加の交流事業などを通して、市民が豊かな国際性を育み、国際理解を深められるよう努めているところであり、引き続き、学習機会や国際交流の機会の提供に取り組む必要があります。

- ③ 市内に在住する外国人に対する日本語教室の実施や外国語表記の生活ガイドの作成に取り組んでおり、市内在住外国人が安心して生活できるよう、引き続き、国際交流協会等と連携した支援に努める必要があります。

- ④ 平和な社会を形成するため、昭和61年の国際平和年に際し「平和都市宣言」を行うとともに、平成22年度には平和首長会議へ加盟したところです。

また、戦争体験記の発刊や小・中学生の広島派遣、平和のつどいなど平和に関する取組を進めるとともに、平和の尊さについて市民自らが考え、行動できる施策を展開していくことが必要です。

2. めざすまちの姿

- ・国際交流では、諸外国との交流を促進することにより、友好親善と相互理解を深め、市民の豊かな国際性を育てる環境づくりを行うことで、世界の恒久平和に寄与することをめざします。
- ・国内交流では、様々な分野で相互の理解と交流を深めることで、自分の住む都市の魅力を再発見する契機となり、活力あるまちづくりに繋がることをめざします。
- ・平和都市宣言の精神に基づき、市民とともに世界の恒久平和への啓発を推進することにより、人類共通の願いである平和な社会の実現をめざします。

3. まちづくり指標

まちづくり指標名	説明	単位	現状値	5年後の目標
国際交流協会会員数	個人、団体、賛助・法人の会員合計数	人	412 (R元)	412

4. 施策の展開

①都市間交流の推進

国際友好・親善を促進し世界平和へ寄与するため、国外姉妹都市である大韓民国慶山市、アメリカ合衆国バンクーバー市をはじめとした国際交流を推進します。

また、様々な分野での交流を通じて、相互理解・親善を深めるとともに、住民福祉の向上と地域社会の発展に資するため、国内姉妹都市である鳥取県三朝町をはじめとした国内交流を推進します。

さらに、行政間交流だけでなく、様々な分野における、市民が主役となった草の根交流を推進するとともに、感染症対策の観点から、ICT等を活用した交流方法についても、検討します。

②国際感覚豊かな人材の育成

国際感覚豊かな人材を育成するため、国際交流協会への支援を行い、語学講座をはじめとした事業を通して、国際理解の環境づくりと学習機会を提供するとともに、国際交流活動の実践や外国語教育の充実に努めます。

③外国人への生活支援

市内に在住する外国人が安心して生活できるよう、国際交流協会とも連携し、外国語による表記、日本語支援ボランティアの育成や日本語習得への支援といった環境整備を行うなど、多文化共生のまちづくりを推進します。

④平和都市の推進

戦争の悲惨さ、平和の尊さ、生命の大切さを後世に伝えるため、平和都市宣言の趣旨に基づいた平和に関する啓発活動や教育を行い、市民とともに平和都市を推進します。

5. 市民ができること・地域ができること

- ・市民は、大韓民国慶山市、アメリカ合衆国バンクーバー市、鳥取県三朝町との交流活動に積極的に参加する。
- ・市民は、さまざまな国際交流活動に積極的に参加し、国際的な視野、感覚などを養う。
- ・市民は、平和の問題は他人事ではなく自身の問題であることを認識するように努める。

6. 関連計画

なし